

指定管理者による公の施設の管理運営状況

平成30(2018)年度

施設名	栃木県立県北体育館
施設所管課	教育委員会事務局スポーツ振興課
指定管理者	大田原市(法人番号9000020092100)
指定期間	平成26(2014)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	大田原市美原3丁目2番62号
施設の概要	①敷地面積 30,975.65㎡ 延床面積 9,997.53㎡ ②メインアリーナ 競技場面積 2,000㎡ 観客席 2,054席 ③サブアリーナ 競技場面積 770㎡ ④武道場 競技場面積 992㎡ ⑤トレーニング室 294㎡ ⑥その他(研修室、幼児体育室)
業務内容	①栃木県立県北体育館の維持管理に関する用務 ②栃木県立県北体育館の施設等の利用許可にかかる事務に関する用務 ③栃木県立県北体育館の施設の運営に関する用務

2 収支の状況

平成30(2018)年度

(千円)

収入			支出		
指	指定管理料	45,668	指	事業費	
定	利用料金収入	18,493	定	管理運営費	61,130
管	その他収入※1		管	人件費	
理			理	その他支出※1	
※2	合計	64,161	※2	合計	61,130
指定管理業務収支差額①			3,031		
自主事業			2,076		
自主事業収支差額②			962		
収支差額(①+②)			3,993		
備考(※1 その他収入の主なものを記載)			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

平成29(2017)年度(前年度)

(千円)

収入			支出		
指	指定管理料	45,668	指	事業費	
定	利用料金収入	21,997	定	管理運営費	59,652
管	その他収入※1		管	人件費	
理			理	その他支出※1	
※2	合計	67,665	※2	合計	59,652
指定管理業務収支差額①			8,013		
自主事業			2,084		
自主事業収支差額②			961		
収支差額(①+②)			8,974		
備考(※1 その他収入の主なものを記載)			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名		平成29年度	平成30年度
メインアリーナ	開放日数	347日	231日
	利用者数	273,640人	182,485人
	平均利用者数	789人	790人
サブアリーナ	開放日数	347日	231日
	利用者数	66,262人	44,913人
	平均利用者数	191人	194人
武道場	開放日数	347日	231日
	利用者数	23,431人	16,963人
	平均利用者数	68人	73人
トレーニング室	開放日数	347日	342日
	利用者数	15,301人	17,931人
	平均利用者数	44人	52人
幼児体育室	開放日数	347日	342日
	利用者数	4,229人	4,612人
	平均利用者数	12人	13人
研修室	開放日数	347日	346日
	利用者数	10,523人	8,500人
	平均利用者数	30人	25人

※メインアリーナ・サブアリーナ・武道場は11月26日から3月31日まで天井改修工事のため使用不可。
 ※トレーニング室及び幼児体育室は、年末年始休業、臨時休業日のほか、イベント貸切りのため4日間利用不可とした。

4 サービス向上に向けた取組

①大会等専用利用の年間申込みについて、可能な限り利用団体の希望に添えるよう日程調整に努めた。
②トレーニング室の照明のLED化を実施した。
③施設内に必要な案内・注意書き等を掲示し、利用規律の維持及び利用者間の無用なトラブルの回避に努めた。
④天井改修工事に伴う駐車場の利用制限について、事前にトレーニング室利用者及び市公園施設利用者に周知し、駐車場トラブルの回避に努めた。
⑤トレーニング雑誌を閲覧しやすいよう、トレーニング室にマガジンラックを設置した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	
① 申請時及び利用時の会話の中から利用者の意見を把握した。 ② 意見箱を設置し意見を求めた。 意見箱に寄せられた意見からは、設備改修の要望等あるものの、管理運営については、利用者に対し一定の満足感を与えられているものと思われる。(以下、主な意見。) ・フロア(アリーナ・武道場)が暑い。 ・きれいでとても使いやすい。 ・使いやすい。 ・和式トイレの洋式化をしてほしい。	
※天井改修工事による利用者減のため、アンケートを実施することができなかった。	
主な利用者意見(苦情・要望)	対応
①バスケットボール台等機材の故障、不具合	①県に要望。随時修理を行うとともに、利用者に対し正しい使い方などについて指導を行った。
②サブアリーナブラインド改修要望	②県に要望。可能な範囲でブラインドの調整を行った。遮光フィルムを部分的に設置した。
③トレーニング室のフリーウェイトエリアの拡充、パワーラック、バーベル等の増設要望	③トレーニング室の広さに限界があり、対応不可。
④トレーニング室のビギナー講習の予約が先まで埋まっている。	④一度に多くの受講者を受け入れてしまうと、一般のトレーニング室利用者の利用に支障をきたすため、少数定員としていることを説明した。

主な利用者意見（積極的評価）
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃が行き届いており、きれいである。 ・備品が充実している。 ・卓球台の台数が多い。

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・大会等主催者と事前に備品や冷房の使用、駐車場等施設の利用について打合せを行い、可能な限り利用者の希望に沿った施設運営を行った。 ・天井改修工事のために減ってしまった駐車場を上手く利用してもらえるよう、駐車場利用について隣接する市施設を含めた、施設ごとのエリア分けを行った。 ・トレーニング室のマシンの保守点検や修繕を行い、利用者の健康増進に努めた。 ・トレーニング室のビギナー講習受講者に対し、当日キャンセル、無断欠席などによる定員割れが生じないように、講習日近くに電話で欠確認を行い、欠員が生じた際にはキャンセル待ち者を充てるなどして対応した。
施設や設備・備品が原因での人身事故ゼロへの取り組み ※指定管理者が独自に設定
<ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備・備品の使用方法について、利用者へ指導を行った。 ・設備・備品の老朽化が進んでいることから、担当者や業者による備品の点検を行い、不具合箇所について状況を把握し、必要な修繕を行うとともに、利用者に対しては、設備・備品の故障や破損、不具合が発生した場合には管理者に報告をするよう指導を行った。 ・土日・祝日、夜間の職員が不在の際の利用について管理人に文書で引継ぎを行い、また、問題発生時の連絡・報告を徹底させ、適切な対応に努めた。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> ・天井改修工事により長期間施設利用を中止してきたことから、不適切な利用による事故や、施設や設備、備品の破損・故障等が起きないように、利用者に対し正しい利用方法についてより一層の指導を行うとともに、設備や備品の破損・不具合を早期発見できるように、器具庫内の整理整頓に努める。

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	利用調整を行い平等利用が確保されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	適正に管理されている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	障害者大会や各団体主催イベントの開催に配慮されている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	目的に沿った事業が実施されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	利用頻度の高い設備・備品の適正な管理によりサービスの向上が図られている。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	多くの意見に基づく満足度の把握、向上が図られた。	C
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	適切な対応をしている。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	常駐する技術社員の活用により、事故や故障を未然に防ぎ、適切な維持管理や安全管理が行われている。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	各手順書を随時見直し、改善を図っている。	B

3. 管理を安定的に行う 物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員をバランスよく配置し、適正な管理運営を行っている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	適正である。	C
	③経費の縮減に取り組まれてきたか	光熱水費のシステム化に取り組み、費用の1割削減を達成している。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	適切に実施されている。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	市のマニュアルに基づき、体制を確保している。	C
	⑥県や関係機関との連携体制は確保されているか	確保されている。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画通り実施されているか	個人情報取扱特記事項を遵守し、適正な取扱を確保している。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開に関する規程は定めているが、当該年度において開示請求はなかった。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	アンケート調査等から利用者ニーズを把握しその都度自己評価を行っている。	C
	②自主事業が計画通りに実施されているか	計画どおり実施されている。	C
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	県民の日イベント等への住民参加を促進している。	C
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	施設周辺のゴミ拾い等、環境への配慮がなされている。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項	—	—
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が快適に利用できるようサービス向上と運営の改善に努めている。 ・光熱水費のシステム化や技術社員の活用による小規模な不具合段階での修繕の実施など、維持管理費用の削減が積極的に行われている。 ・年間利用調整で希望に添えなかった団体等に、随時情報提供するなど利用促進に努めている。 			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。